

2

Feb

{ 2月に予定されているセンターのイベント情報や、  
 { その他のお知らせについてご案内します。 }

### 野鳥観察会「鳥の学校」

[日 時] 2013年2月9日(土) 14:00-16:00

[場 所] 漫湖水鳥・湿地センター

[参加費] ¥100(※保険料として)

[定 員] 20名(※お申し込み先着順、定員に達し次第締め切り)

[対 象] 小学生～一般(※小・中学生は保護者同伴)

[内 容] 漫湖周辺の野鳥観察を行います。鳥の疑問・質問にも先生が分かりやすく教えてくれます。

[講 師] 山城正邦さん(沖縄野鳥の会)

[お問い合わせ]

漫湖水鳥・湿地センター ☎098-840-5121

### 昔の子どもたちの遊びを体験しよう！「漫湖-んかしあしび-パート2」

[日 時] 2013年2月23日(土) 10:00-12:00

[場 所] 漫湖水鳥・湿地センター

[参加費] ¥100(※保険料として)

[定 員] 20名(※お申し込み先着順、定員に達し次第締め切り)

[対 象] 幼児～小学生(※低学年児童は保護者同伴)

[内 容] センター周辺のツルヨシを用いた凧作りや笛づくりなど。

[講 師] 高良吉信さん、高良太郎さん(小禄自治会) 新里昌市さん(鏡原町町内会)

[お問い合わせ]

漫湖水鳥・湿地センター ☎098-840-5121

Topic :

{ いきものファインダー  
 { 漫湖の風景 - 15 }



### 新年、そして節目の100号です。

冬のクロツラヘラサギ到来とともに、一気に加速する鳥見気分。それに師走の慌ただしさが相まって、あっという間に過ぎ去ってしまった12月。気がつけば、たよりも新年号を迎える。そして今回は、なんと第100号という記念すべき号でもある。この忙しい月に大きな節目を迎えるおかげ？で、過ぎ去っていく時間の早さだけでなく、積み重なった時間の重さというものにも気づくことができた。時とともに刻々と変化していく漫湖の自然。その移り変わる風景を、たよりを通してこれからも多くの人に伝えたいと思う。

今回の風景は、イヌタデのピンクの花とクロツラヘラサギの組み合わせ。これもまた昨年12月には見ることでできなかった漫湖の今の風景であり、貴重な記録となるのだ。

## 漫湖で保護された1羽の クロツラヘラサギ。

年の暮れ、漫湖で、怪我をした1羽のクロツラヘラサギを保護するという騒動が起きた。

昨年も、釣り糸が嘴に絡まったクロツラヘラサギの K96が保護さればかりだが、残念なことに今年も保護する個体が出てしまった。しかもその保護を、まさか私たちセンター職員の手で行うことになるとは想像もしていなかった。

今回保護されたクロツラヘラサギは、右足をびっこしている状態で、弱っているところを木道のすぐ脇で発見した。私たちが近づいても全く逃げようとせず、かなり弱っているのがすぐに分かった。当初、二人がかりで直接保護する方法を試みたが、逃げようとしたため、最終的には環境省から預かっていた防犯用のネットランチャーを使用して無事保護した。辺りはすっかり暗くなっていた。早速お世話になっている獣医科病院へ搬送し、診てもらうことになった。診察の結果、右足かかとから趾（あしゆび）にかけての裂傷で、患部が化膿している状態だった。傷口から察するに、何かのゴミに足が挟まり、それを引き抜く際に出来た傷ではないかと説明してくれた。エサも捕れていなかったのだろう、医師はかなり痩せたクロツラヘラサギの状



鱗が裂け腫れあがった趾が痛々しい…

態を心配していた。鳥インフルの検査と傷口の洗浄を終えた後、とりあえず点滴とエサを与え、病院でしばらく様子を見ることになった。

## 人間が捨てたゴミで、 ほかの生き物が傷ついてしまう という現状。

先月のたよりの中で、三角池や漫湖のゴミ問題についてお伝えしたばかりだが、その時危惧していた事が、こんなにも早く現実のものとなってしまった。とにかく干潟に落ちたゴミはとても厄介なのだ。一度埋もれたゴミは簡単に取り出すことができないし、目視で探すこともできない。中に埋もれた釣り針やテグス、割れたビンや缶などは、そのまま水鳥たちを脅かす干潟の地雷になってしまうのだ。だからこそ、絶対にゴミは捨ててはいけないのだ。

傷を負ったクロツラヘラサギのその後談だが、年明けに医師から嬉しい知らせが届いた。体調も無事回復し、傷口の治りも良好だと言う。このまま上手く回復すれば、放鳥の可能性もあるそうだ。あれから、三角池に溜まったたくさんのゴミも、年末に大掃除を行いすっかり綺麗になったそうだ。ただ、人間が作った干潟の地雷は、無論まだそのままなのである。



手当てを受けるクロツラヘラサギ

■ 2013.12/1 — 2013.12/31

{ 漫湖で確認された野鳥 …………… 計 49 種 }

## 漫湖 寄鳥見鳥

## 漫湖で確認された鳥類一覧

12/18



## ソリハシセイタカシギの嘴。

12月上旬、漫湖でクロツラヘラサギに次いでバーダーに人気の高い、ソリハシセイタカシギがやってきた。今年は例年より数が多く、最大で5羽の確認があり、どうやらここで越冬してくれそうな気配だ。このソリハシセイタカシギ、クロツラヘラサギと同様にエサの取り方に特徴があって面白い。

嘴は細く上に反るように伸びており、その先を水面に浸け、左右にしながらすくい上げてエサを捕る。「嘴 = 硬い骨」ではなく、鳥の骨は意外にも柔らかいという事実も、この嘴を以ってすれば合点がいく。

1, カイツブリ	26, チュウシャクシギ
2, ササゴイ	27, タシギ
3, ダイサギ	28, ソリハシセイタカシギ
4, チュウサギ	29, ユリカモメ
5, コサギ	30, ズグロカモメ
6, アオサギ	31, キジバト
7, クロツラヘラサギ	32, カワセミ
8, キンクロハジロ	33, リュウキュウツバメ
9, ミサゴ	34, キセキレイ
10, ツミ	35, ハクセキレイ
11, サシバ	36, シロガシラ
12, オオバン	37, ヒヨドリ
13, コチドリ	38, イソヒヨドリ
14, シロチドリ	39, シロハラ
15, ムナグロ	40, ウグイス
16, ダイゼン	41, キマユムシクイ
17, トウネン	42, シジュウカラ
18, ハマシギ	43, メジロ
19, アカアシシギ	44, ギンムクドリ
20, コアアシシギ	45, ホシムクドリ
21, アオアシシギ	46, カラムクドリ
22, キアシシギ	47, ムクドリ
23, イソシギ	48, ドバト
24, ダイシャクシギ	49, シマキンバラ
25, ホウロクシギ	50,

※この観察記録は、毎月実施されている鳥獣保護区の定点カウントの記録と、センターでの観察記録を基にまとめたものです。